前橋処理区　大規模雨水処理施設整備事業計画（前橋市）

（様式１）

項　　目	内　容　・　施　策　等
選定理由	前橋処理区では昭和２８年から下水道の管渠の整備を開始したため、合流管渠などの雨水処理施設の老朽化が進行している。これらの施設について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	①　本計画における対象降雨 ・対象降雨：69.9mm／hr（住吉町排水分区） 55mm／hr（第二・四・五・六排水区） 50mm／hr（上記以外の全ての排水区） ②　目標設定 ・市民の生命・財産を守る観点から、将来にわたり、床上浸水を防止する。

項　　目	内　容　・　施　策　等			
内水ハザードマップ策定状況	・（有）　（令和６年５月１日策定済み）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・合流管渠調査 ・合流管渠改築工事（φ450～2200）L=10,810m
			下水道管理者以外	・該当無し
		ソフト対策	下水道管理者	・該当無し
			下水道管理者以外	・該当無し
	自助	ハード対策		・該当無し
		ソフト対策		・該当無し

備考）事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

＊下水道浸水被害軽減総合計画に基づき実施している事業の場合、既存の施設調書を添付すること

年　度　計　画						（百万円）
名称	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
合流管渠	455	455	455	455	885	2,705
計	455	455	455	455	885	2,705

備考）事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。
　　整備済のものは含めない。

項　　目	内　容　・　施　策　等
整備効果	設置から５０年以上が経過している前橋処理区の合流管渠施設について、雨水排水機能を適切に確保する。
放流先河川との調整状況	該当無し
その他	本計画の対象合流管渠の調査・改築工事については、ストックマネジメント計画に位置付けられている。